

多収米

高温に強い特性と多収を活かし、所得向上の架け橋へ！

にじのきらめき

RAINBOW RICE

速報
【No.1】

JAが推進する多収米事業について、にじのきらめの作付拡大にご協力を賜う御座います。今年度は、生産者数・作付け面積とも前年を上回り栽培がスタート出来ました。今後、多収米の収量向上に向けて、多収米協議会による栽培支援を実施します。4月から6月の福井県は、暖かい空気に覆われ、気温は平年より高く、降水量は平年並みか多い見込みです。田植え後の稲体の成長促進のため、浅水管理に努め、早期に分げつの確保と草丈の伸長に尽力ください。

1.協議会活動と各地区の取り組みについて

多収米協議会では、今年度の目標単収を設定し、各種活動していきます。

- 生産者数 : 54名(前年比245%)
 - 栽培面積 : 104ha(前年比200%)
- ① R8 多収米協議会単収目標 にじのきらめき:10俵
 - ② 収量向上支援
 - ・各地区でモデル圃場を設置
 - ・各種研修会の実施
 - ・栽培情報発信

◆各地区の状況

地区	福井
生産者	18名
面積	28.9ha

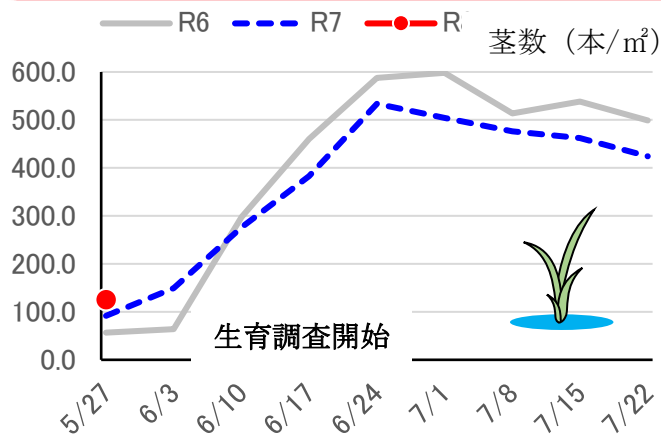
地区	坂井
生産者	26名
面積	47.5ha

地区	奥越
生産者	2名
面積	2.5ha

地区	丹南
生産者	5名
面積	13.7ha

地区	嶺南
生産者	3名
面積	11.5ha

2.茎数の推移について(5月27日現在)



高温の影響で生育が早く進み、草丈は長く、茎数は多く、葉色は濃い状況です。今後の気象変動で大きく変わる影響もありますので栽培管理に注意しましょう。

栽培区分	平均移植日	草丈(cm)	茎数(本/)	葉色
移植	5月12日	27.3	132.4	4.1



丹南営農経済センター管内(田植え日:5月8日)

3.にじのきらめきの栽培ポイント

【活着後の管理】

- ① 藻類・表層剥離の対策
5月中旬の高温・多日照により、藻類や表層剥離が見られます。(圃場の四隅や深水管理で被害が拡大)

藻類や表層剥離による苗のなぎ倒し

【モゲトン粒剤使用方法】
時 期:藻類・表層剥離の発生時
収穫45日前まで
使用量:2kg/10a
(3回以内)

- ② 軟弱徒長の抑制深水管理は稲の軟弱徒長を助長するので、浅水管理を徹底しましょう。

水温の低下

深水管理

◆ 田干し

◆ 浅水管理

県域多収米「にじのきらめき」のお問い合わせは、各地区担当営農指導員までお願いします。